

672年
なぜ、大海人皇子は
美濃をめざしたのか？



関の藤川(藤古川)

壬申の乱1350年記念事業

壬申の乱と 関ヶ原



自害峯の三本杉



大海人皇子 兜掛石

◆企画展「壬申の乱と関ヶ原」

2022年11月26日(土)~2023年3月24日(金) 9:00~16:00

不破関資料館

入館料 大人110円、中学生以下無料 月曜休館(祝日の場合は翌日)

◆壬申の乱1350年記念講演会in関ヶ原 事前申込/先着順

2022年11月27日(日) 14:00~15:30

関ヶ原ふれあいセンター

講師 相原 嘉之 奈良大学准教授

演題 壬申の乱1350年 一天武が壬申の乱から得たもの

定員 100名 ※定員を増やす場合があります

参加無料



◆壬申の乱ゆかりの地ウォーキング 事前申込/先着順

2022年11月26日(土) 9:00~12:00 小雨決行

コース 不破関資料館、不破関跡・不破関守跡、兜掛石、関の藤川(藤古川)、
自害峯の三本杉ほか

定員 20名

参加無料



関の藤川(藤古川)

主催 岐阜県関ヶ原町 参加申込/お問い合わせ先 関ヶ原町地域振興課 TEL 0584-43-1112(平日9:00~17:00)

令和4年度に岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています。

詳しくは裏面をご覧ください

壬申の乱と関ヶ原

2022年は、672年に古代日本最大の内乱と呼ばれる「壬申の乱」が起きてから、1350年の年です。

壬申の乱において、関ヶ原は吉野を脱出した大海人皇子の本拠地となり、大友皇子軍との戦いが繰り広げられました。

企画展、講演会そしてウォーキングを通して、壬申の乱と関ヶ原の関わりやゆかりの地を紹介します。

企画展 「壬申の乱と関ヶ原」

古代日本最大の内乱と呼ばれる壬申の乱と関ヶ原の関わりを、
パネルと展示物で紹介します。

2022年11月26日(土)～2023年3月24日(金) 9:00～16:00

不破関資料館 〒503-1541 岐阜県不破郡関ヶ原町松尾21-1

▶JR関ヶ原駅より徒歩20分、名神高速関ヶ原ICより車で5分

- 内 容
- 1.プロローグ壬申の乱
 - 2.美濃をめざす
 - 3.不破道をふさぐ
 - 4.壬申の乱をかたりつぐ
 - 5.壬申の乱後の国づくり

休館日 月曜(祝日の場合翌日、年末年始12/29～1/3)

入館料 大人110円、中学生以下無料



石神遺跡出土鉄器 奈良文化財研究所蔵
(パネルによる展示)

壬申の乱 1350年記念講演会 in関ヶ原 参加無料

事前申込／先着順

相原嘉之 奈良大学准教授が、壬申の乱の全体像と
関ヶ原の関わりについて講演します。

2022年11月27日(日) 14:00～15:30

関ヶ原ふれあいセンター 〒503-1501 岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-29

▶JR関ヶ原駅より徒歩10分、名神高速関ヶ原ICより車で5分

講 師 相原 嘉之 奈良大学准教授

演 題 壬申の乱1350年 -天武が壬申の乱から得たもの-

定 員 100名(事前募集／先着順) ※定員を増やす場合があります



相原 嘉之(あいはら・よしゆき) 奈良大学准教授

1967年大阪府生まれ。奈良大学文学部文化財学科卒業。奈良国立文化財研究所、財団法人滋賀県文化財保護協会、明日香村教育委員会を経て、2020年奈良大学文学部文化財学科准教授に就任し、現在に至る。専門は日本考古学(古代宮都・都城の研究)・文化財学。博士(文学)。藤原京跡・酒船石遺跡・キトラ古墳・高松塚古墳など、明日香・藤原地域の遺跡の発掘調査に従事しているほか、主な著書として、『古代明日香の都市構造』『明日香・藤原の宮都を語る』などがある。

壬申の乱 ゆかりの地 ウォーキング 参加無料

事前申込／先着順

関ヶ原町内にある壬申の乱ゆかりの地をたずねる
ウォーキングです。

2022年11月26日(土) 9:00～12:00 小雨決行

コース 不破関資料館→不破関跡・不破関守跡→兜掛石・沓脱石→井上神社→藤下の若宮八幡神社→関の藤川(藤古川)→矢尻の池(井)→自害峯の三本杉→黒血川→不破関資料館

定 員 20名

案内人 川島行彦(関ヶ原町地域振興課)

集 合 関ヶ原町役場東側駐車場に9:00集合

岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原894-58



自害峯の三本杉

記念講演会／ウォーキング申込方法 申込期限 11月24日(木)

関ヶ原町地域振興課にE-mail又は電話でお申し込みください。先着順に受け付けます。

E-mail chiikishinko@town.sekigahara.gifu.jp TEL 0584-43-1112(直) (平日9:00～17:00)